

薩摩川内市と立地協定を締結

～「リニューアブルディーゼル（Nebio）製造研究センター」を整備し、脱炭素社会の実現と地域発展に貢献～

南国殖産株式会社（本社：鹿児島市）は、令和 8 年 10 月 2 日（金）、薩摩川内市と立地協定を締結しました。本協定に基づき、同市内に「リニューアブルディーゼル（Nebio）製造研究センター」を建設し、非可食植物であるジャトロファを原料とする、軽油代替燃料として利用可能な HVO（水素化処理植物油）の製造方法に関する実証試験施設（パイロットプラント）を整備します。



集合写真（写真右から）

- ・田中良二 薩摩川内市長
- ・永山在紀 南国殖産株式会社 取締役特別顧問
- ・北村貴志 鹿児島県商工労働水産部 部長

<協定締結の背景>

当社は昭和 20 年に旧川内市で設立され、現在は鹿児島市に本社を置く総合商社です。これまで、バイオ燃料事業の将来性と事業化の可能性について調査・研究を進めてきました。今回の立地協定を契機に、HVO の製造技術に関する実証を進め、次世代燃料の社会実装に向けた取り組みを加速します。

<計画概要>

- **施設名称：**リニューアブルディーゼル（Nebio）製造研究センター
- **施設の位置付け：**HVO の製造方法に関する実証試験施設（パイロットプラント）
- **研究対象：**ジャトロファ由来の植物油と水素を高温・高圧で反応させる水素化処理による合成燃料の製造
- **目指す成果：**ジャトロファを原料とする HVO の製造技術及び事業化可能性の検証

<期待される効果>

本計画を通じて、化石燃料の使用に伴う環境負荷の低減に資する技術開発を推進し、脱炭素社会の実現に貢献します。また、研究・実証拠点の整備による新たな雇用の創出をはじめ、薩摩川内市および地域経済の発展への寄与を目指します。

※ジャトロファ

種子に約 3 割の油分を含み、非可食であるため食料競合の可能性が低く持続可能性に優れていることから、バイオ燃料の原料として期待される植物

※HVO（水素化処理植物油）

植物油と水素を高温・高圧で反応（水素化処理）させて得られる合成燃料

<本件に関するお問い合わせ先>

バイオマス推進事業部 バイオ燃料開発課

〒890-0053 鹿児島県鹿児島市中央町 18 番地 1

TEL：099-210-5225